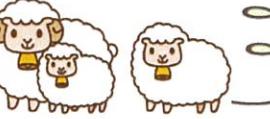


そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 6

2021年9月24日発行



9月の聖句

『わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。』

(新約聖書・ヨハネによる福音書15章5節)

イエスさまの時代、ぶどうの木は低く剪定され、枝も短く剪定され、ぶどうの実の房は木に寄り添うように栽培されました。

ぶどうの木のそばで、いのちの水・栄養を受けて成長し実を生(な)らせるのでした。

ぶどう、聖書の世界では祝福のシンボルです。

聖十字の子どもたちはイエスさまに向って祈りをささげています。

その祈りは、みのりに導かれてゆくことを信じます。その成長の過程に、祈りを共にする幸いを与えられ、子どもたちから励ましを受けているわたしです。

実(じつ)に感謝！

チャプレン池田亨



半年がたちました

朝の会、きちんと並んで座り先生がお名前を呼ぶのを身をのり出させていきます。ほん

じー

ハイ！と手を上げて

無事にお返事できたらあの

満足気な嬉しい笑顔！とてもかわいいです。

先生によると、一人遊びから、反対同士の遊びになくなって、おもちゃの貸し借りもだんだん上手に

できるようになってきているそうです。

バルシェーレも大好き！ホールいっぱい使って

思いっきり（本と豆豉を使つて）みんなで遊んでいますよ。

先生のルール説明を聴くときの集中力を高めています。

（この）から自由遊びにはなっても自分たちで同じ遊びを始め

全員で楽しく盛り上がりっているのを見て

講師の皆さん

本当に努力して下さっています。

PCRや体調管理と

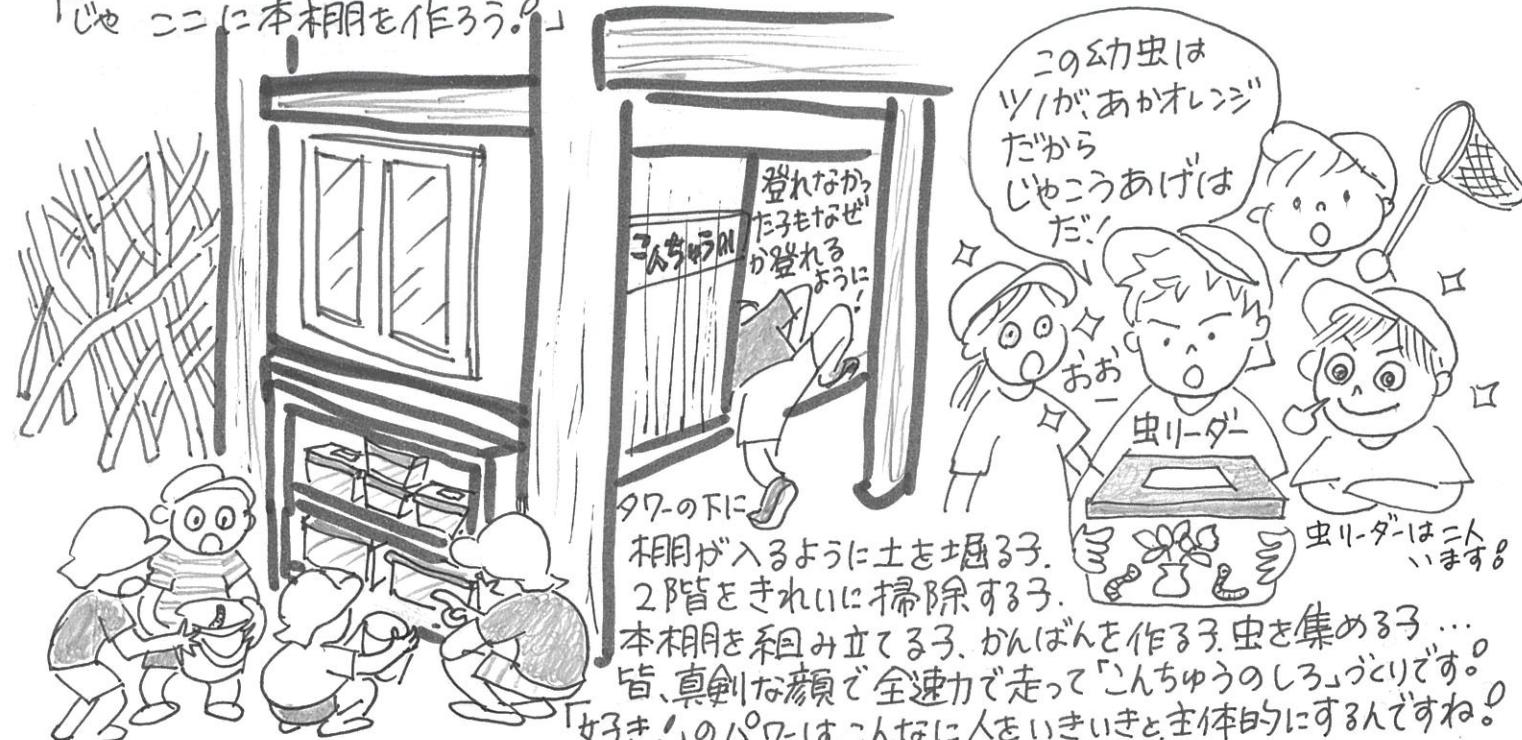
本当に努力して下さっています。

さなぎのふしき

タワーの2階が今、年長さんたちの手によって、どんどん変化しています。

ムシが熱い！！

「小さい子に虫を見せたい」「虫のことを周囲がほしい」「虫のケースをいっぽい置けた方がいい」「使わない木枠があるよ」「なまえはこんちゅうの成がいい」「じゃ看板を作ろう」「図鑑は5冊おく」「じゃここに本棚を作ろう。」



朝から焼肉キャンプ!?



さなぎのふしき

玄関では、毎朝モンシロチョウのさなぎが、つぎつぎと蝶になっていきます。同じ虫かごには、キアゲハの幼虫もいます。私が今読んでいる本の中に、さなぎになると中で一度どろどろの液体になる、と書いてあったので、びっくりして調べてみました。さなぎの中の秘密はまだ全部は解明されていないそうですが、確かにどろどろの液体状になるんですね。でも、実は幼虫のうちに体の中に少しずつ準備していた、身体の部品のもとになる細胞があつて、さなぎになったらそれを一気に増やして並べて形作っていくそうです。一度溶かした自分の体を材料にして、さなぎという型枠の中に！す、すごい、生物！すごいですね、命！！